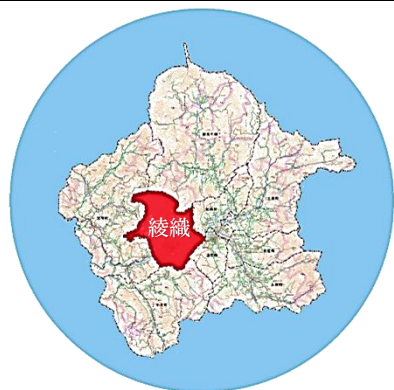


綾織町まちづくり計画



地域の将来像 しあわせの生まれる町「綾織」

綾織に古くから伝え残されてきた文化や歴史を住民誰もが知っていて、綾織の田園風景の中を駆けるSLや桜並木を見に来る観光客、風の丘や産直を利用する買い物客へ、文化が伝わることで、住民と訪れる人双方に「しあわせ」な気持ちが生まれる町を目指し、住民ひとりひとりが地域での活動を楽しんでいく。

I. 人口の推移と計画づくりの背景

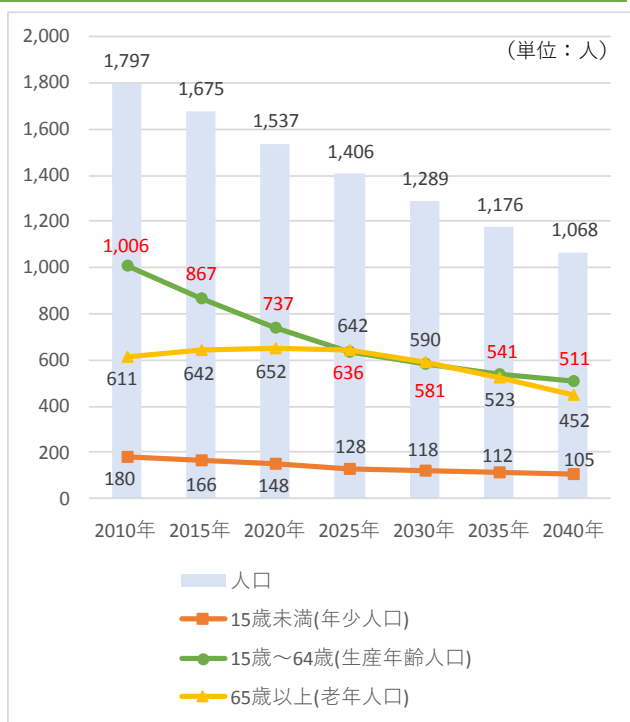


図 綾織町の人口推移(出典：遠野市人口ビジョン)

今年度、綾織町で取り組んだ地域づくり計画を策定する背景として、全国的にも言われている少子高齢化に伴う人口減少、これらに付随した地域内産業や地域活動の担い手の減少、独居の高齢者の増加などの課題を、綾織町の住民自身ができる範囲でどのように対応していくかを考える必要がありました。

上図は綾織町の2010年から2040年まで

の人口推計です。現在に近い、2015年時点の人口は1,797人で、現状では生産年齢人口と言われる15歳から64歳の世代が65歳以上の老年人口をやや倍の人数で上回っています。

しかし、上図の推計のまま推移していくと2025年には生産年齢人口と老年人口がほぼ同数となり、綾織町だけでみると生産年齢人口世代の内のひとりが老年人口世代のひとりを支える状況となり、両方の世代のひとりひとりの負担が現状よりも増す傾向になります。

また、生産年齢人口の減少に伴い15歳未満の年少人口も減少を続け、2025年には現在の6割ほどの人数に減少します。

ただし、この推計は現状に対して少しでも生産年齢人口や年少人口を増やす取り組みをしない場合での計算です。

そこで、綾織町では住民自身で今より少しでも綾織町が良くなる活動を行うことで、生産年齢人口や年少人口が増える未来になるよう地域づくり計画を策定しました。

本計画では、策定会議で話し合われた地域の良い点、改善点、これらを踏まえた解決策としての事業や活動を記載しています。

なお、紙面上部の将来像も今回の策定会議で検討しました。

II. 地域の特性と活動状況

1. 地域の特性・良い点

- ・遠野市の市街地からやや西側に位置し、道の駅風の丘や結和といった買い物や食事のできる立ち寄り場所があることから、遠野市を經由して沿岸部や内陸部に向かう観光客が立ち寄りやすい場所を有している。
- ・桜並木や田園風景といった景色が沿線に広がっているため、釜石線利用者や鉄道好きにはたまらない風景が数多くある。
- ・綾織町を通る国道 396 号沿いにある、千葉家住宅は約 200 年前に建築され現存している南部曲り家の中でも保存状態が良く、地域の象徴的な建築物として親しまれている。現在改修工事中のため見学はできないが、綾織町外からの訪問も多い場所である。
- ・国指定の史跡として、縄文時代前期の拠点集落があったとされる綾織新田遺跡があり、古くから住みやすい場所であったことがうかがえる。

2. 地域の活動・行事

- ・毎年7月に開催される綾織まつりは綾織町内だけでなく遠野市内外から参加者を募って行われる綾織わらすっこすくすく相撲大会や、市内外の伝統芸能団体を招き行われる郷土芸能競演会などが行われている。
- ・町内には複数の神社仏閣があり、付近の自治会が中心となって宵宮や例大祭が行われます。併せて周辺環境整備も自治会が中心となって行っています。
- ・綾織町のスポーツ振興とスポーツを通じた健康づくりに取り組む綾織スポーツクラブが組織されており、町内の各種競技団体やサークル活動が盛んに行われている。

III. 地域の改善点

1. 農地の維持管理

- ・農家の高齢化や担い手不足による農地の維持管理が大変になっている場所も増えており、地域内の景観維持にも徐々に影響が出始めています。

2. 空き家の増加

- ・高齢化による施設入居や町外への転出などにより空き家が増えており、所有者が不明になっている物件では維持管理もままならない状況になりつつある。

3. 新しいことへの挑戦が不足

- ・町内で新しいことを挑戦しようとしても、一歩が踏み出せずにいる住民への後押しが不足している。

4. 町外向けのPRが不足

- ・景観や休憩場所など良いところが多くあるが、綾織町を訪れる人向けに、綾織町を知ってもらうための仕掛けや町外に向けたPRが不足しているため、さらに深く知ってもらう工夫が必要である。

IV. これからの実践に向けて

今回の計画づくりは、綾織町内から多くの方の参加のもと行われましたが、全ての町民の意見が活かされている訳ではありません。

来年度から計画内の活動を実践するにあたり、今年度よりも多くの町民が参加して、この計画に足りないことを増やしたり、必要のないものを省いたりしていき、綾織町にとっての生きた計画として使っていきたいと思います。

地域のみみんなで今よりも少しだけ良い綾織町になるよう活動していきましょう。

V. 地域づくり事業

1. イベント事業

プロジェクト	活動内容
<p>1. 綾織まつりの参加者増進</p> <p>【ねらい】</p> <p>まつりの参加者を増やすことで観覧者も増えることから郷土芸能の技術の向上につながる。</p>	<p>1-1 綾織まつりを盛り上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣き相撲に参加した方々を引き続きまつりに参加してもらうために、泣き相撲の後に行われる郷土芸能の公演で、神楽を見てもらい獅子頭に頭をかじってもらい無病息災を祈念してもらう。 ・泣き相撲参加者にも抽選券を配り、泣き相撲終了後も会場に留まってもらう。 ・泣き相撲で町外から観光客を誘客するために、各行政区で目玉商品をつくり、出店で販売する。 ・祭り全体のプログラムを変えて参加者の多い時間を増やす。
<p>2. 田んぼアート</p> <p>【ねらい】</p> <p>綾織の新たな魅力として田んぼアートを行い、観光客の誘客を図る。</p>	<p>2-1 田んぼアート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地を視察して取り組みを学ぶ。 ・田んぼアートを実践して、収穫したお米を田んぼアートの写真付で販売する。
	<p>2-2 田んぼアートで農業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼアート用の田んぼに田植えをしたり、草取りをしたりして農業体験を実施して農業への楽しさを知ってもらう。
	<p>2-3 田んぼアート展望台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展望台の設置を市と協働で行う。
<p>3. 桜ロード周辺の充実</p> <p>【ねらい】</p> <p>桜ロードを拡大して春の綾織を町内外の人に楽しんでもらう。</p>	<p>3-1 周辺の駐車場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が車を停めて歩いて見やすくするために駐車場を整備する。
	<p>3-2 川沿いの荒れ地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いの荒れ地を活用して、川の景色や桜を楽しめる遊歩道や、グラウンドゴルフなどの体を動かす場に整備する。

2. 地域の情報発信

プロジェクト	活動内容
<p>1. 見どころマップづくり 【ねらい】 綾織町に住んでいる人が町外の人にも思わず語りたくなるマップやPR動画をつくり、綾織町のファンを増やす。</p>	<p>1-1 綾織の屋号マップづくり ・綾織で今も住民を呼び合うときに使われる屋号や屋号の由来をマップに残すことで、観光で訪れる人にも意味を知ってもらうことで綾織に親しんでもらい、もう一度訪れてもらう。</p> <p>1-2 見どころマップ ・田園や桜、SLなど四季の移り変わりが素晴らしい綾織の風景や、遠野遺産、寺社などをPRするマップをつくり、町外に広く発信する。</p> <p>1-3 綾織PR動画づくり ・見た人が実際に行ってみたくなる、綾織の見どころを映像にして発信する。</p>
<p>2. みんなの活動を応援 【ねらい】 綾織町で新しく活動してみたいという思いを持った人のきっかけづくり。</p>	<p>2-1 みんなを応援補助金の創設 ・町内でチャレンジする人が増えてほしいので、綾織町民が綾織町内で新たに取り組む活動や挑戦したい事業への補助金を創設して、応援する。</p>

3. 生活環境の向上

プロジェクト	活動内容
<p>1. 空き家活用で雇用創出 【ねらい】 徐々に増えている空き家を活用する方法を考え、運用して、新たな雇用につなげる。</p>	<p>1-1 町内の空き家調査 ・市と協力して空き家の戸数や所有者の意向を調べる。</p> <p>1-2 空き家の活用研究 ・他の地域で行っている空き家活用の事例を学ぶ。 ・綾織町内の空き家を活用してカフェやお店などの働く環境をつくり、綾織で生活する人を増やす。</p> <p>1-3 空き家の活用実施 ・空き家の活用内容について考え、計画を立てて実行する。</p>
<p>2. 農業振興推進 【ねらい】 現在の就農者と新たな担い手との交流により、町内での就農者間の連携を強め、農業振興につなげる。</p>	<p>2-1 農業を語る場づくり ・農業に興味のある人、農業について語りたい人の交流する場をつくる。 ・農業者で集まって話しができる場をつくる。</p> <p>2-2 閑耕地の相談が出来る場づくり ・農業全体(土地の貸し借り、耕作依頼など)について相談できる場をつくる。</p>
<p>3. 買い物支援 【ねらい】 買い物困難者の支援。</p>	<p>3-1 要支援者の調査 ・高齢者や免許無保有者にどんな買い物支援が必要なのかを調べる。</p>

4. 旧綾織中学校の活用

プロジェクト	活動内容
1. 旧綾織中学校の活用 【ねらい】 現在、小学校として活用されており、地域内の高齢者と子どもとの交流の機会を生み出せる好環境であることを活かし、様々な活動ができる場所として活用する。	1-1 利用状況見学 ・旧綾織中学校を見学して、現在の利用状況などを調べる。
	1-2 趣味の交流に活用 ・年齢や性別の分け隔て無く、綾織町のみんなが機織りや料理など様々な趣味で交流できる場をつくる。
	1-3 高齢者サロンの開催 ・高齢者同士で得意なことを活かしながら交流する。
	1-4 避難所の機能拡充の促進 ・避難所の機能を拡充するために、資材などの備蓄を増やす。
	1-5 カフェづくり ・指定管理を受けてカフェなどを運営することで地域活動の資金を稼ぐことが出来る。

5. 千葉家住宅の活用

プロジェクト	活動内容
1. 千葉家住宅の活用 【ねらい】 地域の宝である千葉家住宅で営まれてきた伝統的な生活習慣や建物を活かした文化によるまちづくりにつなげる。	1-1 お土産品の開発研究 ・千葉家住宅のオープンに向け、地場産品を活用したお土産品の開発研究を行う。
	1-2 千葉家家財道具活用体験 ・千葉家住宅の家財道具（昔の食器、農具、馬具など）を活用し、食・農・山などをテーマに子ども達も交えながら、昔ながらの料理の再現し、千葉家の食器を使用しての試食体験、農具、馬具などの活用体験を行う。
	1-3 茅刈り・茅場火入れ体験 ・かやぶき屋根の原材料となる茅についての知識を高めるため、綾織町にある茅場で、茅刈りや茅場火入れ体験学習を行う。
	1-4 千葉家住宅に関する学習会 ・千葉家住宅に関する学習会を開催し、町民の千葉家住宅の活用によるまちづくりに対する意識を高める。